学校番号	3032B

令和８年度　数学科

教科	数学	科目	数学Ｂ	単位数	１単位	年次	２年次後期
使用教科書	新編　数学Ｂ　（数研出版）						
副教材等	クリアー数学Ｂ　（数研出版）						

1　担当者からのメッセージ（学習方法等）

・理論に適しているのかどうか、正しく分かり易い方法かどうかなど、絶えず考える習慣をつけてください。
・問題集用のノートも用意し、自習用（家庭学習用）に用いてください。定期的に提出してもらいます。
・問題を解くときは、単に計算は式の羅列ではなく、考え方やなぜそうなるのかといった理由も書き添えるようにしましょう。答え合わせもしましょう。答えが異なるときは、特に、どこで差異が出てきたのかを確認し、納得できるかどうか考えましょう。そして、後から（後日）、もう一度その問題に取り組み、解答を見ずに解くことができるか確認しましょう。

2　学習の到達目標

数列，統計的な推測についての基本的な概念や原理・法則を体系的に理解するとともに，数学と社会生活の関わりについて認識を深め，事象を数学化したり，数学的に解釈したり，数学的に表現・処理したりする技能を身に付けるようにする。離散的な変化の規則性に着目し，事象を数学的に表現し考察する力，確率分布や標本分布の性質に着目し，考察する力を養う。数学のよさを認識し数学を活用しようとする態度，粘り強く柔軟に考え数学的論拠に基づいて判断しようとする態度，問題解決の過程を振り返って考察を深めたり，評価・改善したりしようとする態度や創造性の基礎を養う。

3　評価の観点及びその趣旨

観点	a:知識・技能	b:思考・判断・表現	c:主体的に学習に取り組む態度
観点の趣旨	・数学と社会生活の関わりについて認識を深めている。 ・事象を数学化したり，数学的に解釈したり，数学的に表現・処理したりすることができる。	・確率分布や標本分布の性質に着目し，母集団の傾向を推測し判断したり，標本調査の方法や結果を批判的に考察したりすることができる。 ・日常の事象や社会の事象を数学化し，問題を解決したり，解決の過程や結果を振り返って考察したりすることができる。	・数学のよさを認識し数学を活用しようとしたり，粘り強く柔軟に考え数学的論拠に基づき判断しようとしたりしている。 ・問題解決の過程を振り返って考察を深めたり，評価・改善したりしようとしている。

上に示す観点に基づいて、学習のまとまりごとに評価し、学年末に５段階の評定にまとめます。学習内容に応じて、それぞれの観点を適切に配分し、評価します。

4　学習の活動

学期	単元名	学習内容	単元(題材)の評価規準	評価方法		
				知(a)	思(b)	主(c)
後期	数学と社会生活	現象と数学	a：社会生活などにおける問題を，数学を活用して解決する意義について理解している。 b：日常の事象や社会の事象において，数・量・形やそれらの関係に着目し，理想化したり単純化したりして，問題を数学的に表現することができる。 c：問題解決の過程を振り返って考察を深めたり，評価・改善したりしようとしている。	単元テスト 提出物	単元テスト 提出物 振り返りシート	振り返りシート 提出物 振り返りシート

※　表中の観点について　a:知識・技能　b:思考・判断・表現　c:主体的に学習に取り組む態度